

第119回日商簿記2級 第1問 仕訳問題類題 問題・解答

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現金	当座預金	受取手形	売掛金
未収入金	立替金	減価償却費	満期保有目的債券
貸付金	売買目的有価証券	繰越商品	車両
仮払法人税等	支払手形	買掛金	借入金
未払金	前受金	仮受金	修繕引当金
車両減価償却累計額	未払法人税等	売上	受取手数料
有価証券利息	有価証券売却益	保険差益	仕入
売上原価	支払保険料	修繕費	保管料
租税公課	法人税等	有価証券売却損	未決算

- (試験範囲の改定により試験範囲外となったため削除)
- 保有している船舶に対して定期的な修繕を行い、代金 ¥ 500,000 は次月末に支払うことにした。なお、この船舶については、¥ 200,000 の修繕引当金が設定されている。
- 平成 19 年 12 月 13 日に ¥ 980,000 で売買目的のために購入した額面 ¥ 1,000,000 の国債を平成 20 年 6 月 12 日に端数利息を含めて ¥ 982,000 で売却し、先方振り出しの小切手を受け取った。この国債の年利率は 2% であり、利払日は 3 月 31 日と 9 月 30 日である。なお、利息の計算は 1 年を 365 日として行っている。
- 平成 20 年 3 月 31 日に決算を行った結果、法人税額が ¥ 4,000,000、住民税額が ¥ 2,000,000、事業税額が ¥ 500,000 となることが確定した。これらの税額のうち、法人税は ¥ 3,000,000、住民税は ¥ 1,500,000、事業税は ¥ 200,000 をそれぞれ中間納付している。
- 営業用の車両（取得原価 ¥ 1,000,000、減価償却累計額 ¥ 500,000、間接法による）が 9 月 30 日の事故により使用不能となった。この車両には ¥ 500,000 の保険が掛けられており、この車両に対して月割りで当期の減価償却費を計上するとともに、保険会社に対して保険金支払いの請求を即刻行った。当社の決算は 3 月 31 日であり、当該車両の減価償却は定額法（耐用年数 9 年、残存価額は取得原価の 10%）による。

・解答

	借方科目	金額	貸方科目	金額
2	修繕引当金	200,000	未払金	500,000
	修繕費	300,000		
3	現金	982,000	売買目的有価証券	980,000
	有価証券売却損	2,000	有価証券利息	4,000
4	法人税等	6,500,000	仮払法人税等	4,700,000
			未払法人税等	1,800,000
5	減価償却費	50,000	車両	1,000,000
	車両減価償却累計額	500,000		
	未決算	450,000		
別解	減価償却費	50,000	車両減価償却累計額	50,000
	車両減価償却累計額	550,000	車両	1,000,000
	未決算	450,000		